

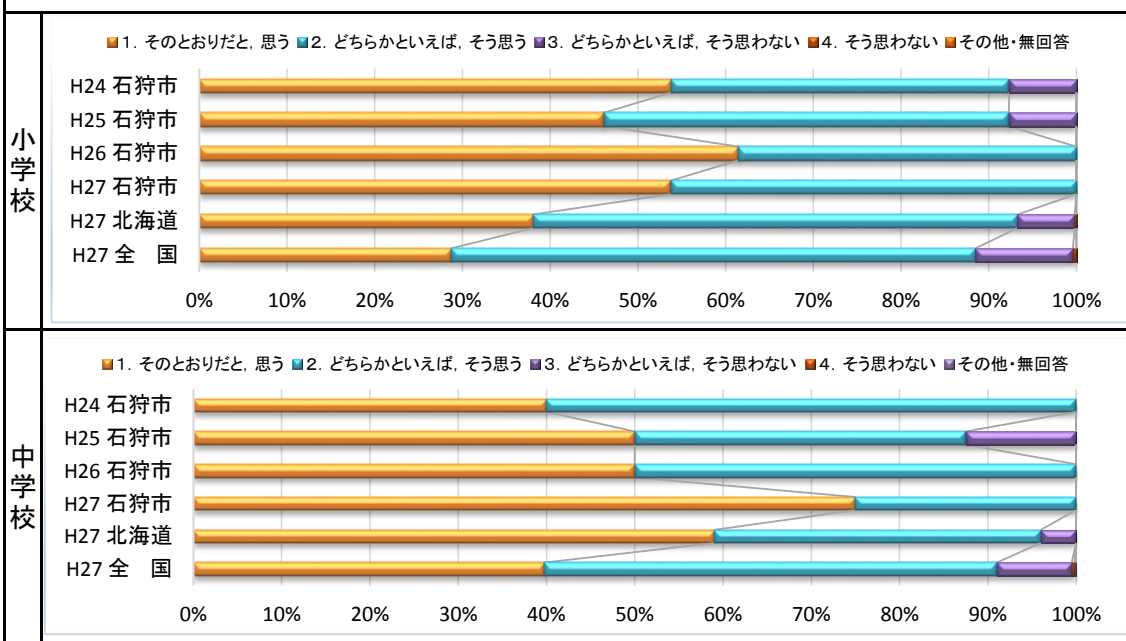
# 平成27年度 学習状況調査 「学校質問紙」結果

## I 学力態度・学習規律

### 礼儀正しく、落ち着いた態度で授業に取り組んでいる

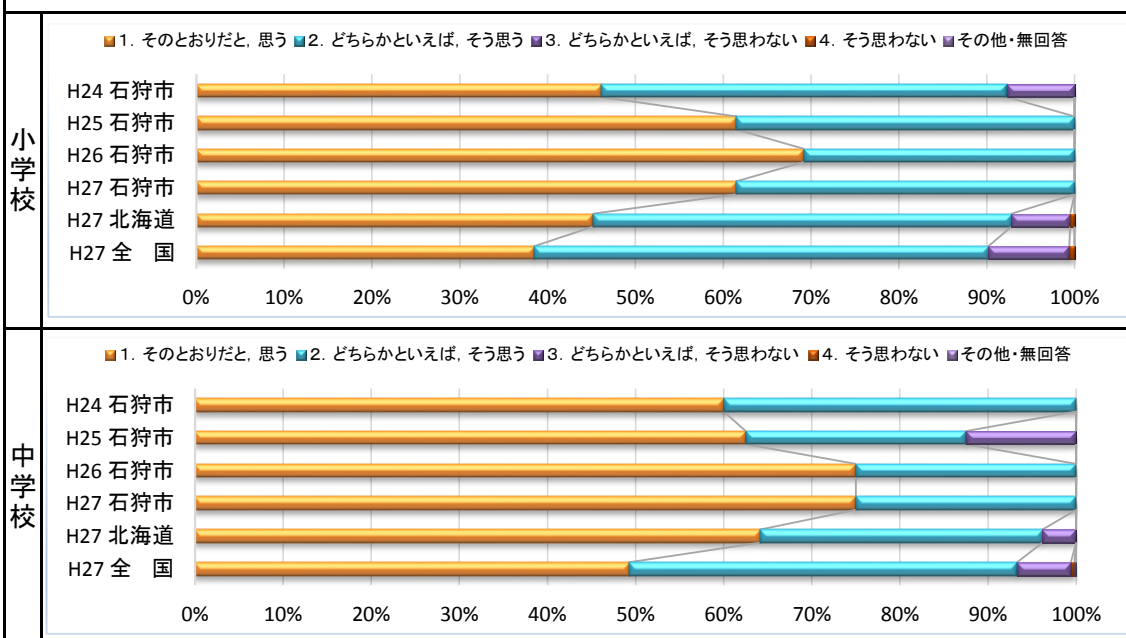
「礼儀正しい熱意を持って勉強している」割合は、小学校で53.8%(全国比+25.1ポイント, 全道比+15.7ポイント)で、中学校では、75.0%(全国比+35.2ポイント, 全道比+15.9ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、礼儀正しい態度で、授業に取り組んでいることが伺えます。

#### 1. 調査対象学年の児童・生徒は、礼儀正しいと思いますか



「私語がなく落ち着いた」割合は、小学校で61.5%(全国比+23.0ポイント, 全道比+16.3ポイント)で、中学校では75.0%(全国比+25.7ポイント, 全道比+10.8ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、落ち着いた授業に取り組んでいることが伺えます。

#### 2. 調査対象学年の児童・生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いたと思いますか

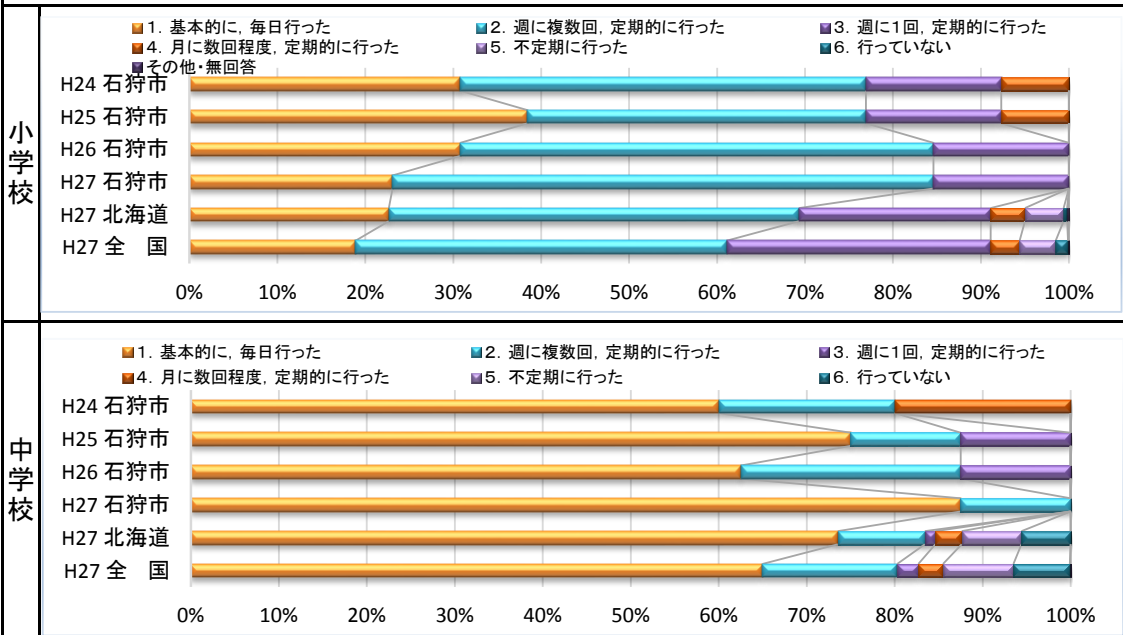


## II 学力向上に向けた取組

### 読書活動への取組が定着

「朝の読書」などの「一斉読書の時間を毎日設けた」割合は、小学校で23.1%(全国比+4.2ポイント, 全道比+0.4ポイント)で、中学校では、87.5%(全国比+22.6ポイント, 全道比+13.9ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、読書活動が定着していることが伺えます。

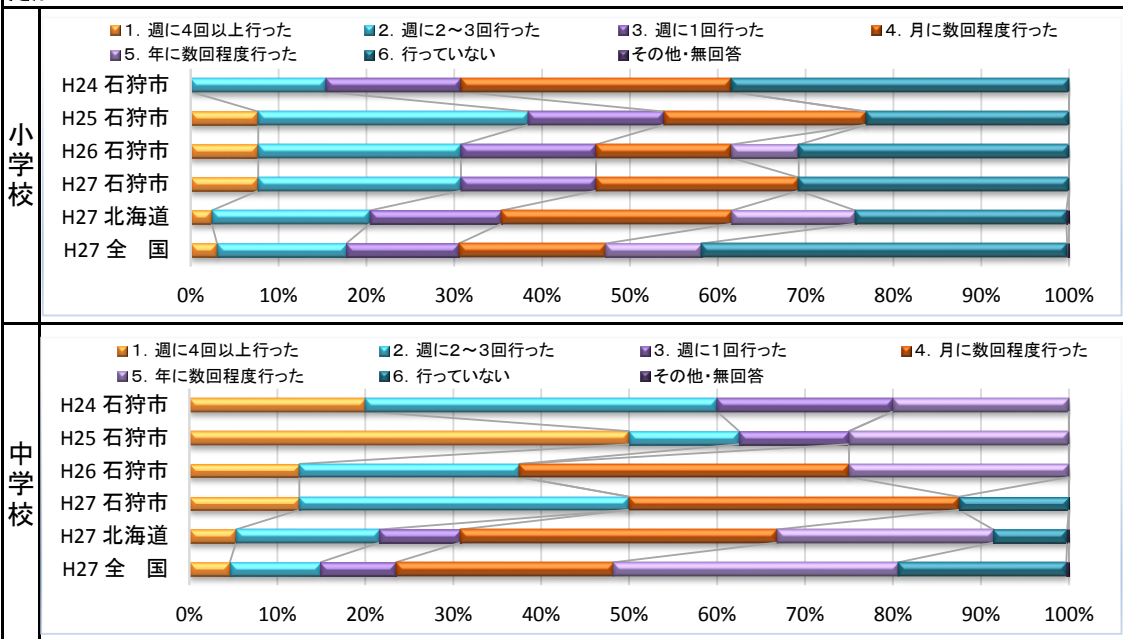
#### 3. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか



### 放課後や長期休業中を利用した補充的学習サポートが定着

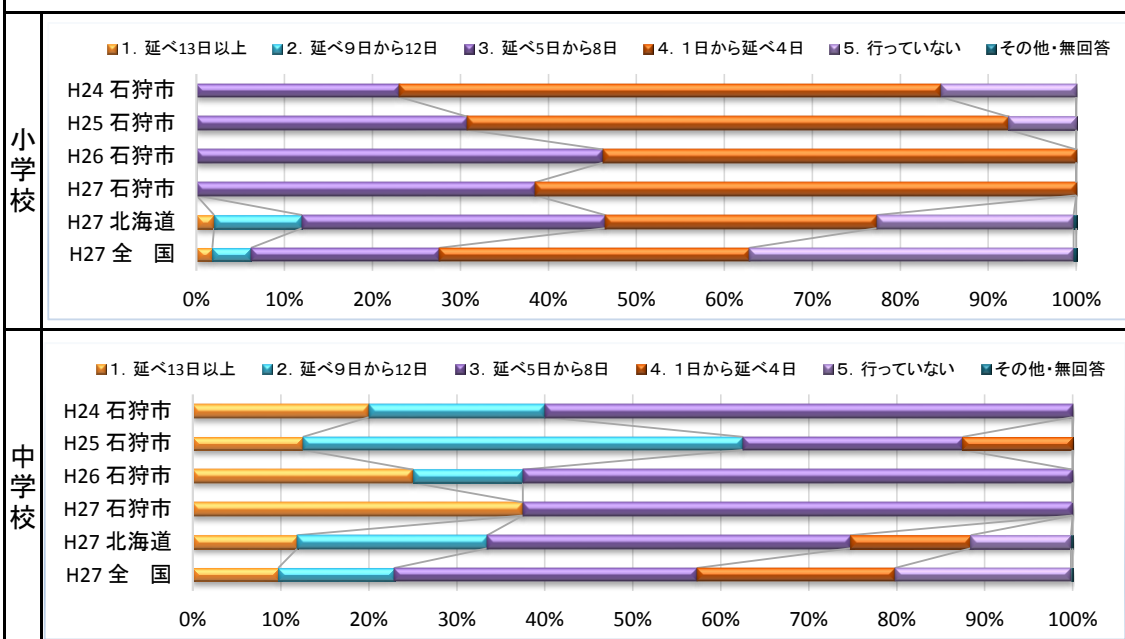
「放課後を利用した補充的な学習サポートを週に1回以上行った」割合は、小学校で46.2%(全国比+15.7ポイント, 全道比+10.8ポイント)で中学校では、50.0%(全国比+26.5ポイント, 全道比+19.2ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、より積極的な取組を推進していることが伺えます。

#### 4. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか



「長期休業日を利用した補足的な学習サポートを述べ5日以上実施した」割合は、小学校で38.5%(全国比+10.9ポイント, 全道比-8.0ポイント)で、中学校では、100.0%(全国比+42.7ポイント, 全道比+25.2ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、より積極的な取組を推進していることが伺えます。

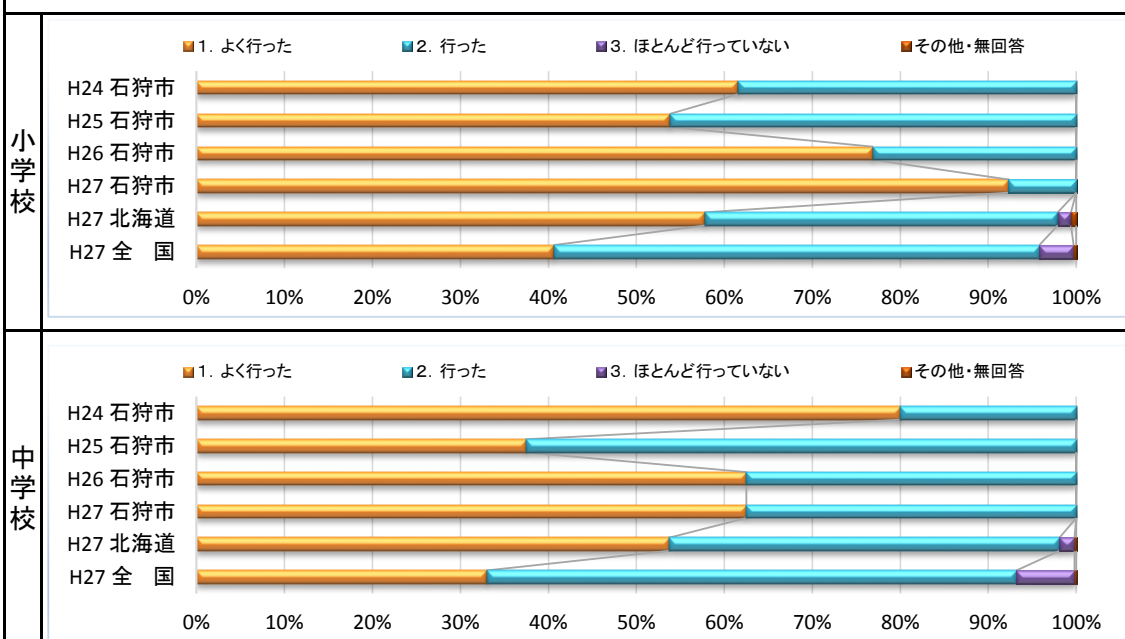
**5. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか(実施した日数の累計)**



**全国学力・学習状況調査の結果を活用して改善**

平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、「学校全体で教育活動を改善するために活用した」割合は、小学校で92.3%(全国比+51.7ポイント, 全道比+34.5ポイント)で、中学校では、62.5%(全国比+29.5ポイント, 全道比+8.7ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、特に小学校の上昇が大きく、教育指導の改善への意欲が伺えます。

**6. 平成26年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか**

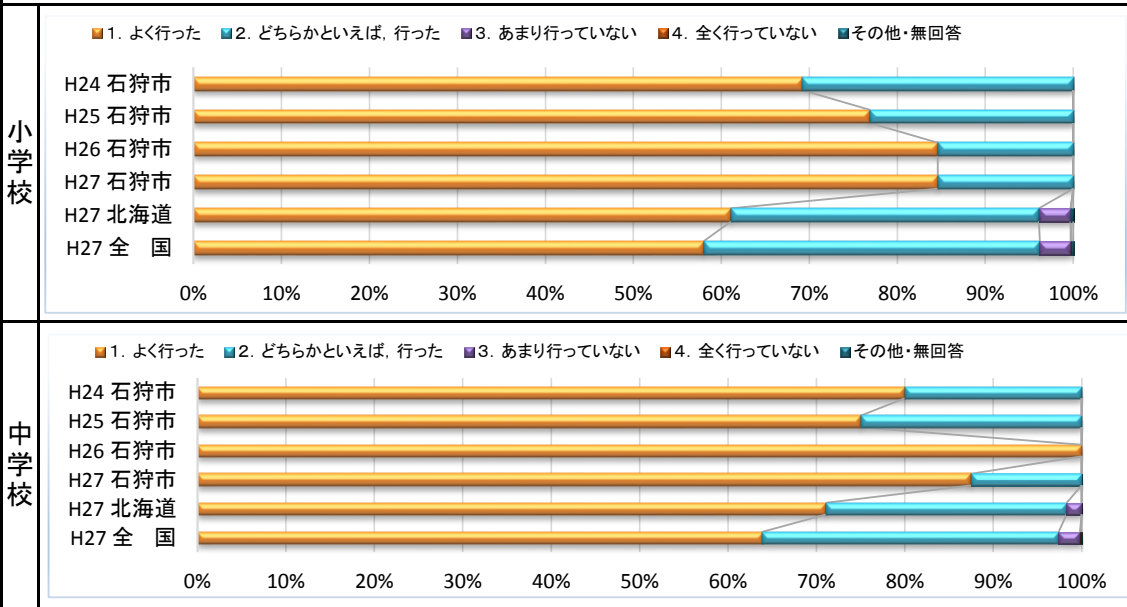


### Ⅲ 指導方法・学習規律

#### 学習規律維持の徹底は定着

「学習規律の維持を徹底した」割合は、小学校で84.6%(全国比+26.6ポイント, 全道比+23.5ポイント)で、中学校では87.5%(全国比+23.6ポイント, 全道比+16.4ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、学習規律の定着していることが伺えます。

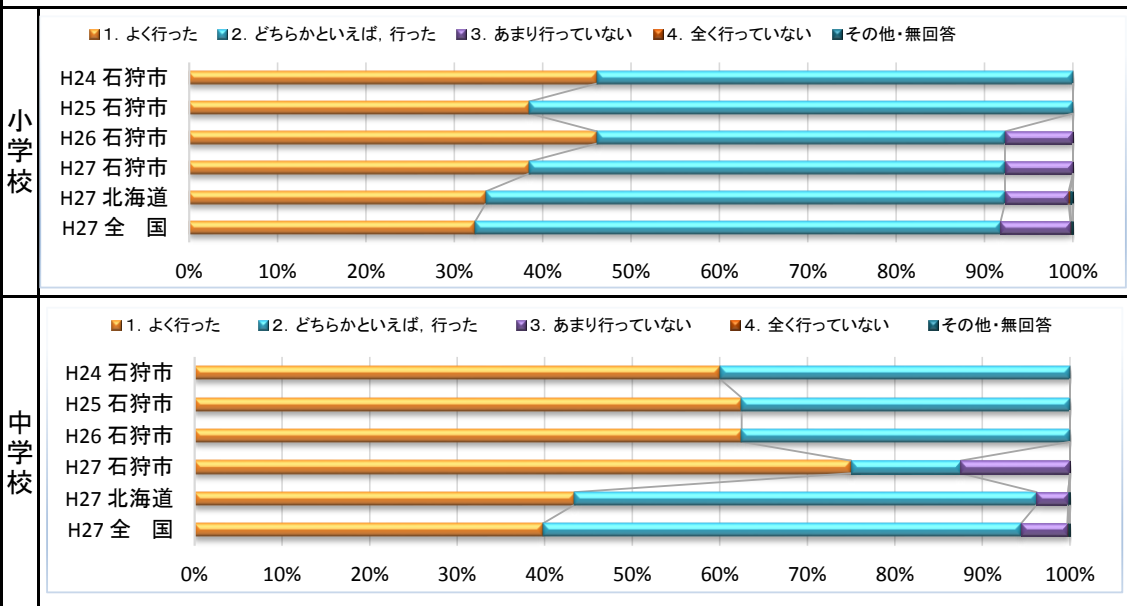
#### 7. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか



#### 教科の特質に注目した指導の改善に成果

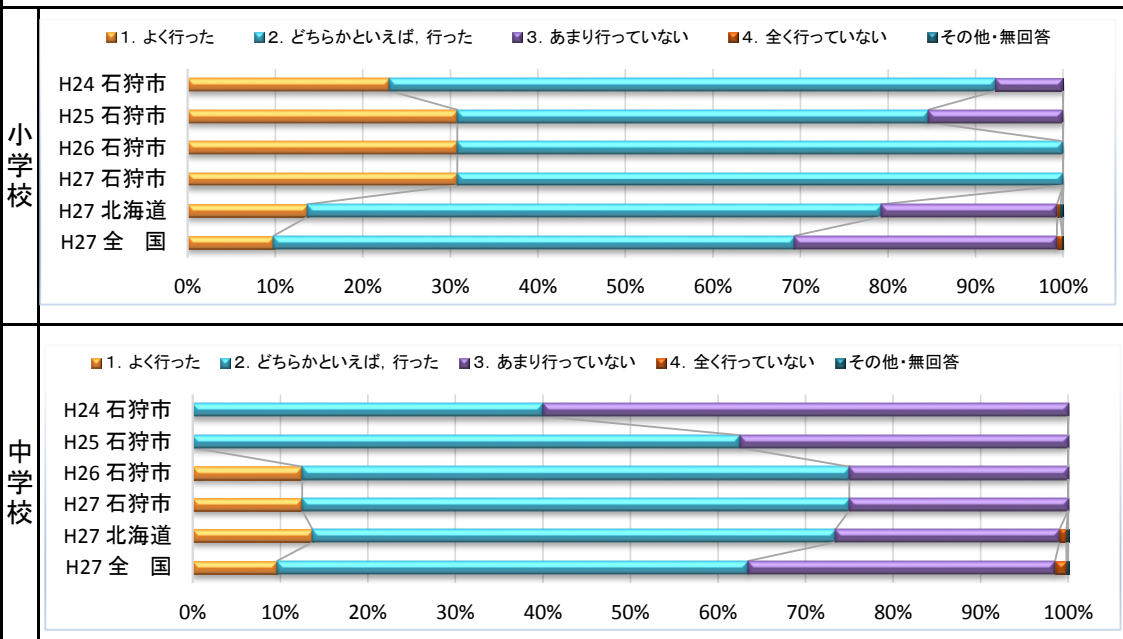
国語の指導として、「書く習慣を付ける授業をよく行った」割合は、小学校で38.5%(全国比+6.1ポイント, 全道比+4.9ポイント)で、中学校では75.0%(全国比+35.2ポイント, 全道比+31.6ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、特に中学校での指導・改善が伺えます。

#### 8. 調査対象学年の児童・生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか



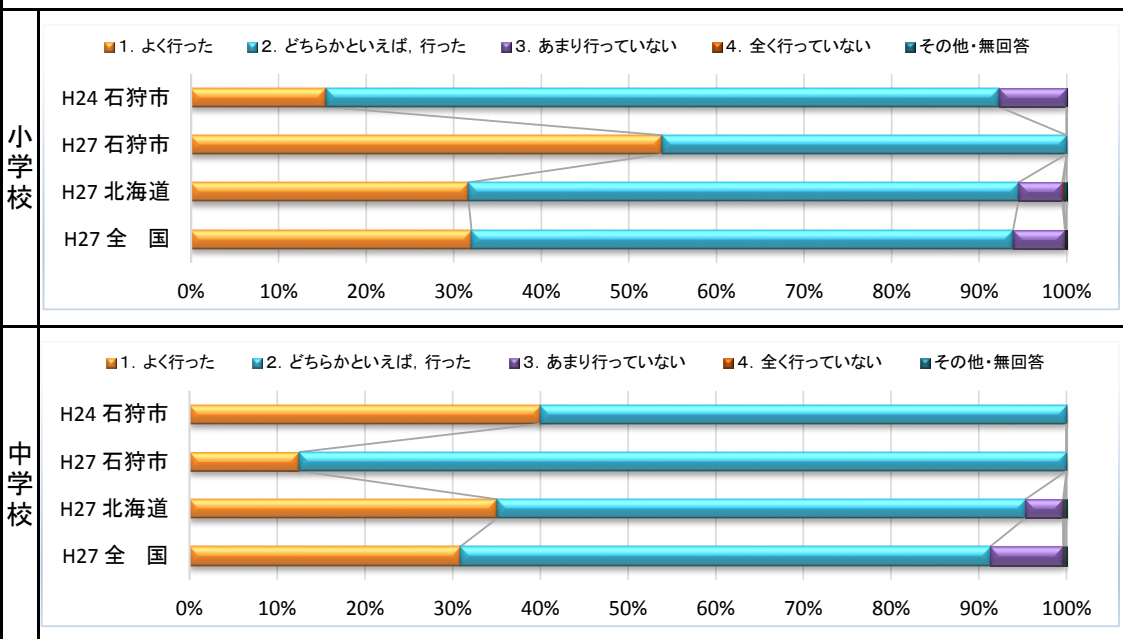
算数・数学の指導として、「前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業をよく行った」割合は、小学校で30.8%(全国比+21.0ポイント、全道比+17.1ポイント)で、中学校では12.5%(全国比+2.9ポイント、全道比-1.2ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、意識した取組が伺えます。

**9. 調査対象学年の児童・生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか**



理科の指導として、「観察や実験の結果を整理し考察(分析し解釈)する指導をよく行った」割合は、小学校で53.8%(全国+21.8ポイント、全道比+22.1ポイント)で、中学校では12.5%(全国比-18.4ポイント、全道比-22.6ポイント)でした。特に小学校での指導・改善が伺えます。

**10. 調査対象学年の児童・生徒に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察(分析し解釈)する指導を行いましたか**

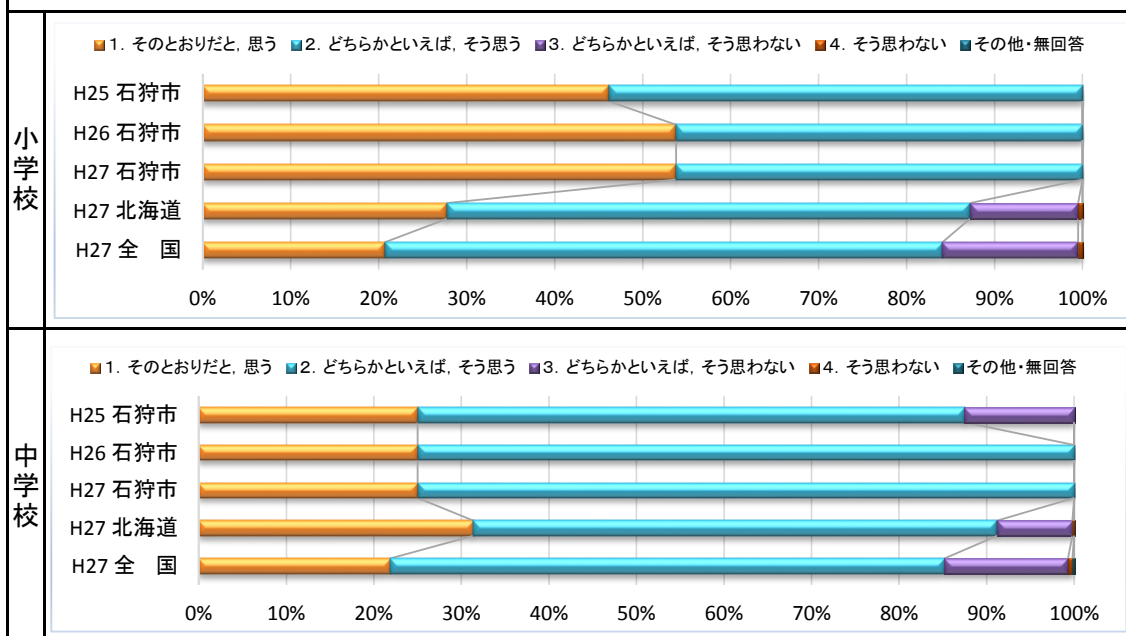


## IV 言語活動

### 言語活動を取り入れる授業が定着

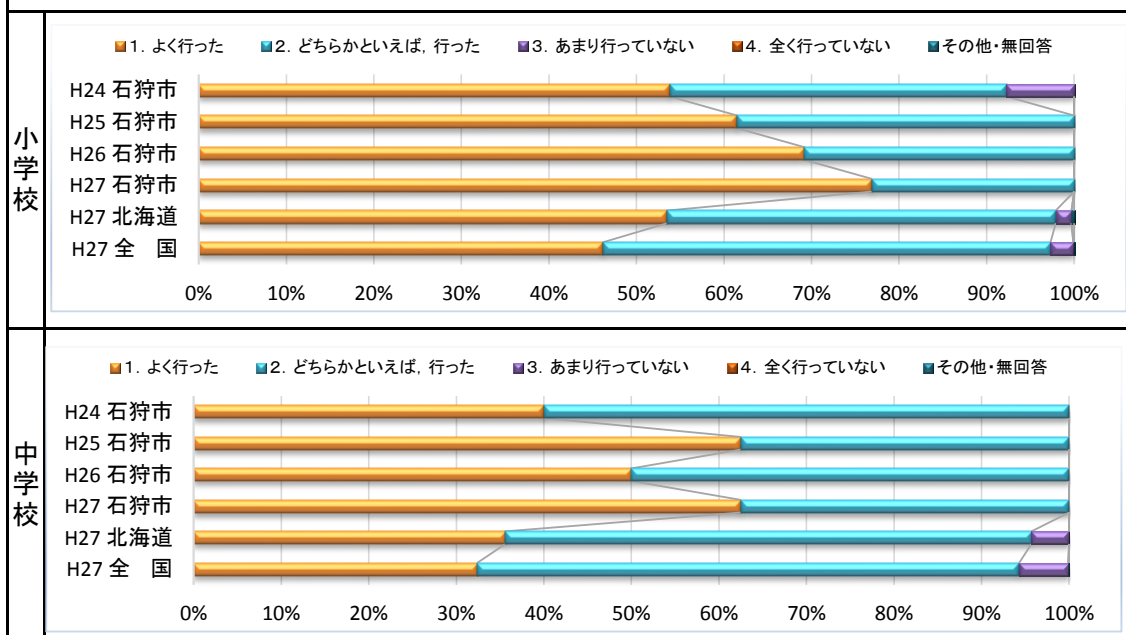
学級やグループでの話し合いなどの活動で、「相手の考えを最後まで聞くことができている・どちらかといえばできている」割合は、小学校で100.0%(全国比+16.0ポイント、全道比+12.7ポイント)で、中学校では100.0%(全国比+14.8ポイント、全道比+8.7ポイント)でした。小・中学校で、話し合い活動の積極的な取組が伺えます。

#### 11. 調査対象学年の児童・生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



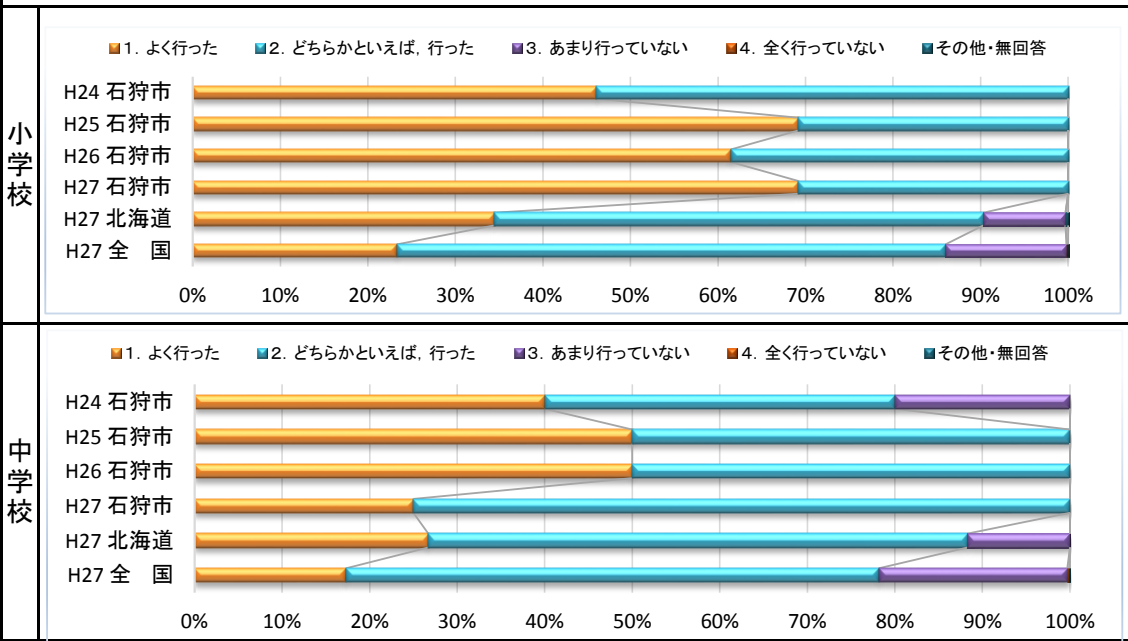
「発言や活動の時間を確保して授業を進めた・どちらかといえば行った」割合は、小学校で100.0%(全国比+2.7ポイント、全道比+2.1ポイント)で、中学校では、100.0%(全国比+5.7ポイント、全道比+4.3ポイント)でした。全道・全国を上回り、積極的な取組が伺えます。

#### 12. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか



「資料を使って発表ができるよう指導した・どちらかといえば行った」割合は、小学校で100.0%(全国比+14.1ポイント, 全道比+9.6ポイント)で、中学校では、100.0%(全国比+21.9ポイント, 全道比+11.7ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、積極的な取組が伺えます。

### 13. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか

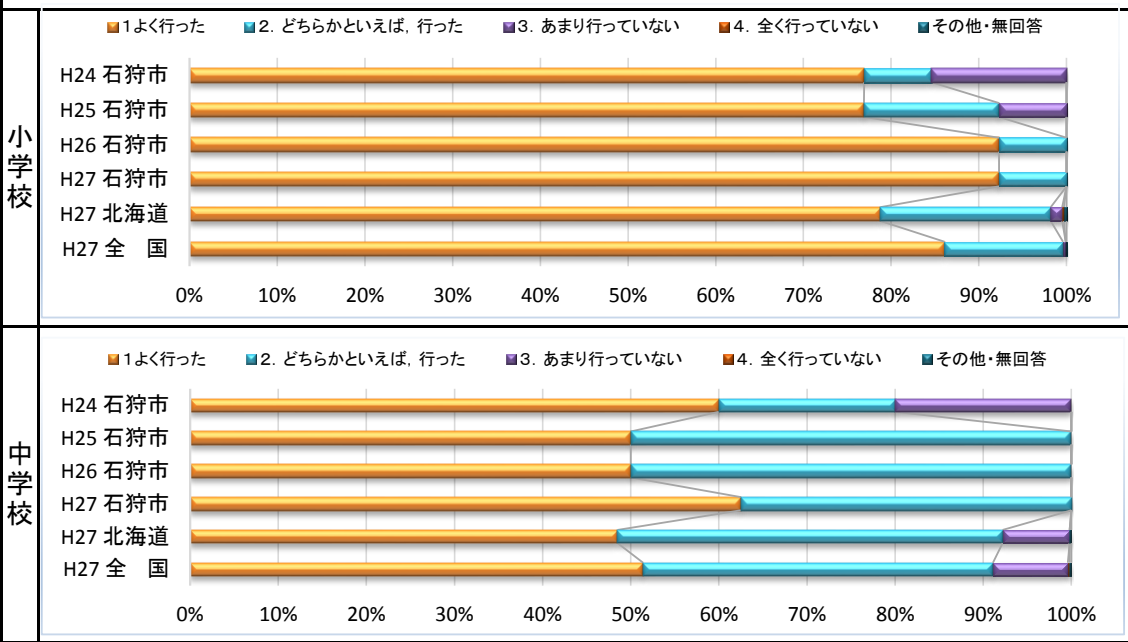


## V 家庭学習・家庭との連携

### 家庭学習における認識が高まり、家庭との連携も定着

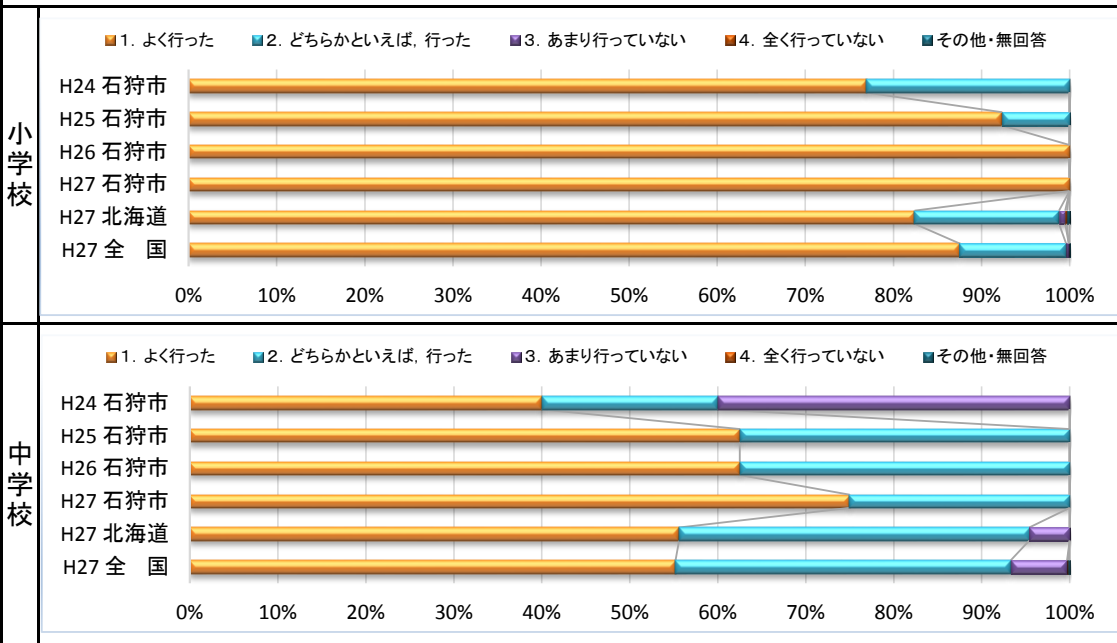
国語の指導として、「家庭学習の課題(宿題)をよく与えた」割合は、小学校で92.3%(全国比+6.2ポイント, 全道比+13.5ポイント)で、中学校では、62.5%(全国比+11.1ポイント, 全道比+14.0ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、家庭学習の定着・強化していることが伺えます。

### 14. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



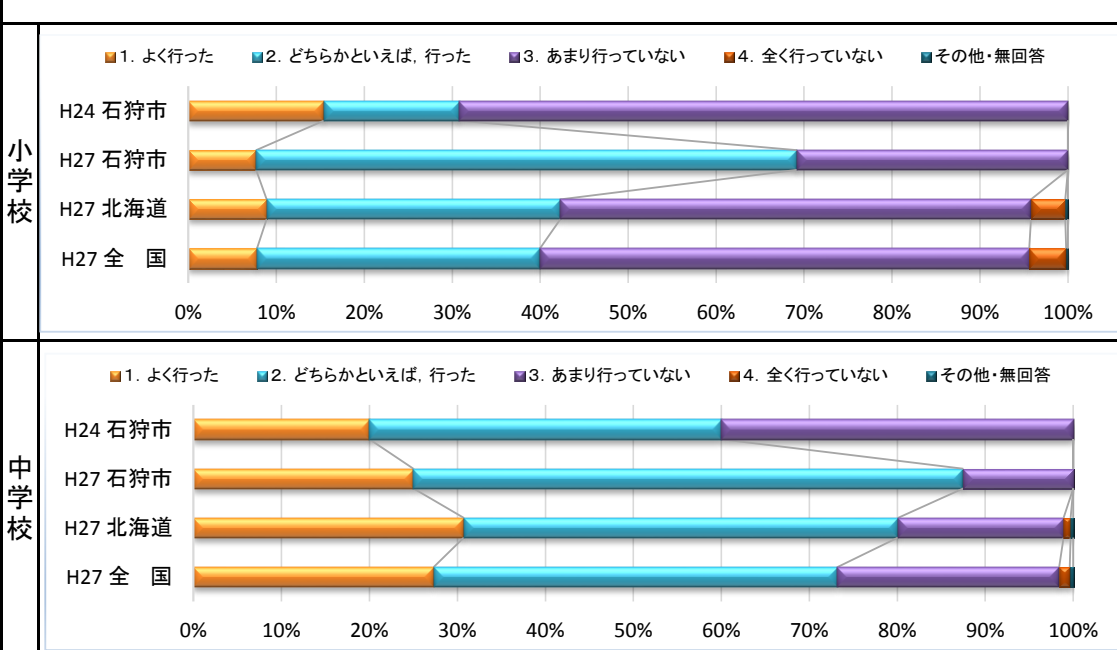
算数・数学の指導として、「家庭学習の課題(宿題)をよく与えた」割合は、小学校で100.0%(全国比+12.5ポイント, 全道比+17.6ポイント)で、中学校では、75.0%(全国比+19.8ポイント, 全道比+19.4ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、特に小学校での取組の定着が伺えます。

**15. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、算数・数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか**



理科の指導として、「家庭学習の課題(宿題)をよく与えた」割合は、小学校で7.7%(全国比-0.1ポイント, 全道比-1.2ポイント)で、中学校では、25.0%(全国比-2.3ポイント, 全道比-5.7ポイント)でした。「どちらかといえば、行った」を加えると、全道・全国平均より高い傾向にあります。

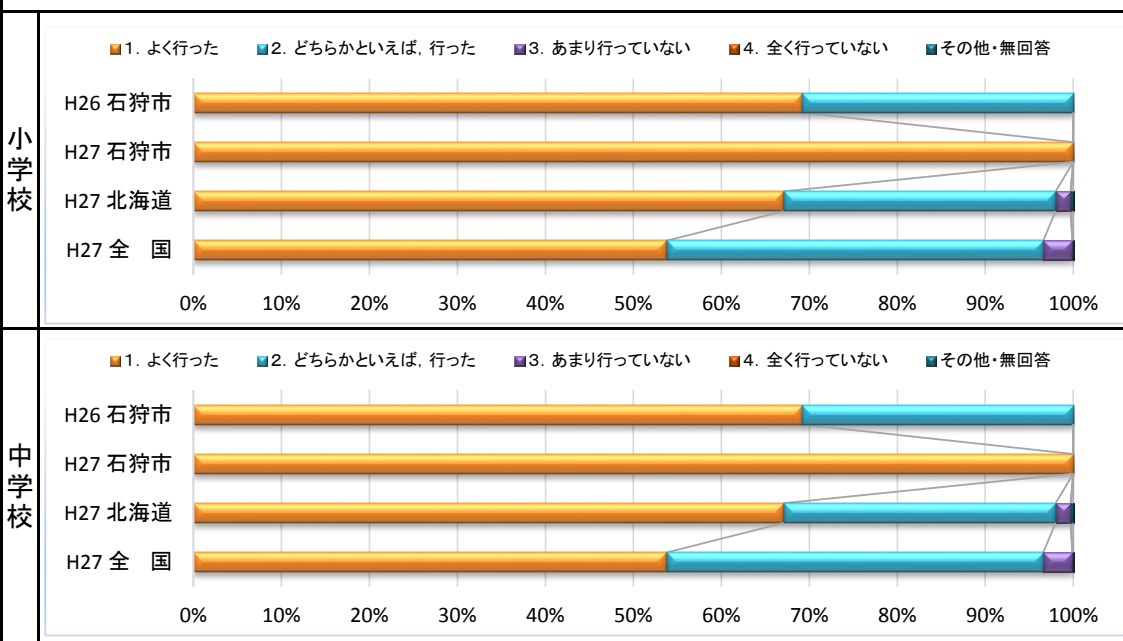
**16. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、理科の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか**





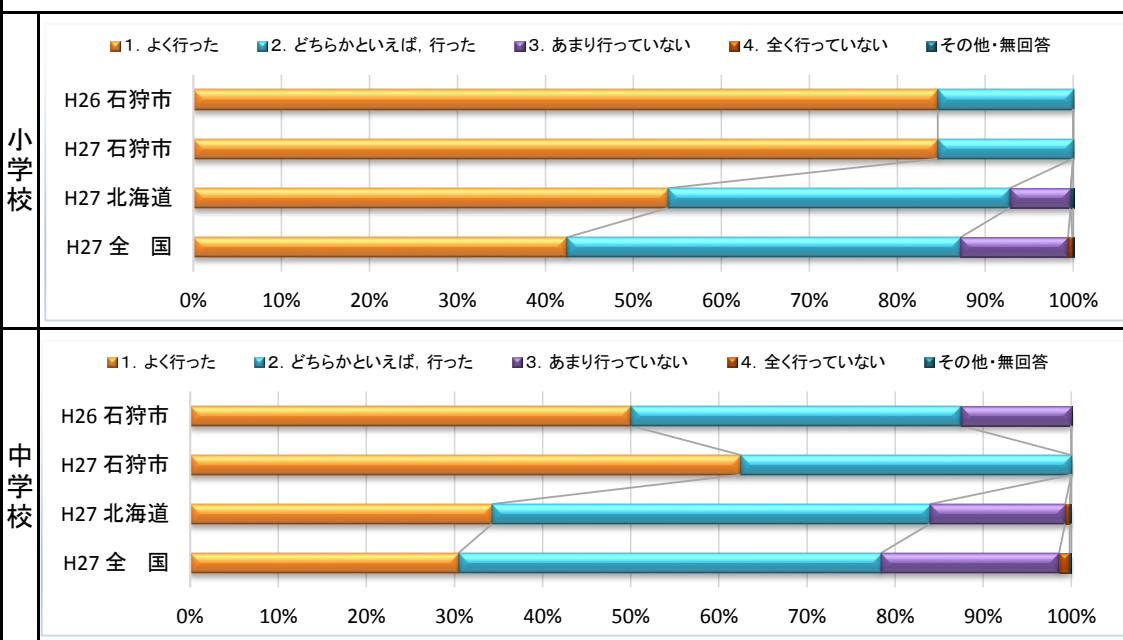
「児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけをよく行った(国語／算数・数学共通)」割合は、小学校で100.0%(全国比+46.2ポイント, 全道比+32.8ポイント)で、中学校では、62.5%(全国比+30.7ポイント, 全道比+15.1ポイント)でした。全道・全国より高く、小学校で100%であり、保護者に家庭学習を促す取組が向上しています。

**17. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、保護者に対して児童・生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか(国語／算数・数学共通)**



「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解をよく図った(国語／算数・数学共通)」割合は、小学校で84.6%(全国比+42.2ポイント, 全道比+30.6ポイント)で、中学校では62.5%(全国比+32.0ポイント, 全道比+28.2ポイント)でした。全道・全国より高く、家庭学習に対する教職員の共通理解が図られていることが伺えます。

**18. 調査対象学年の児童・生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語／算数・数学共通)**

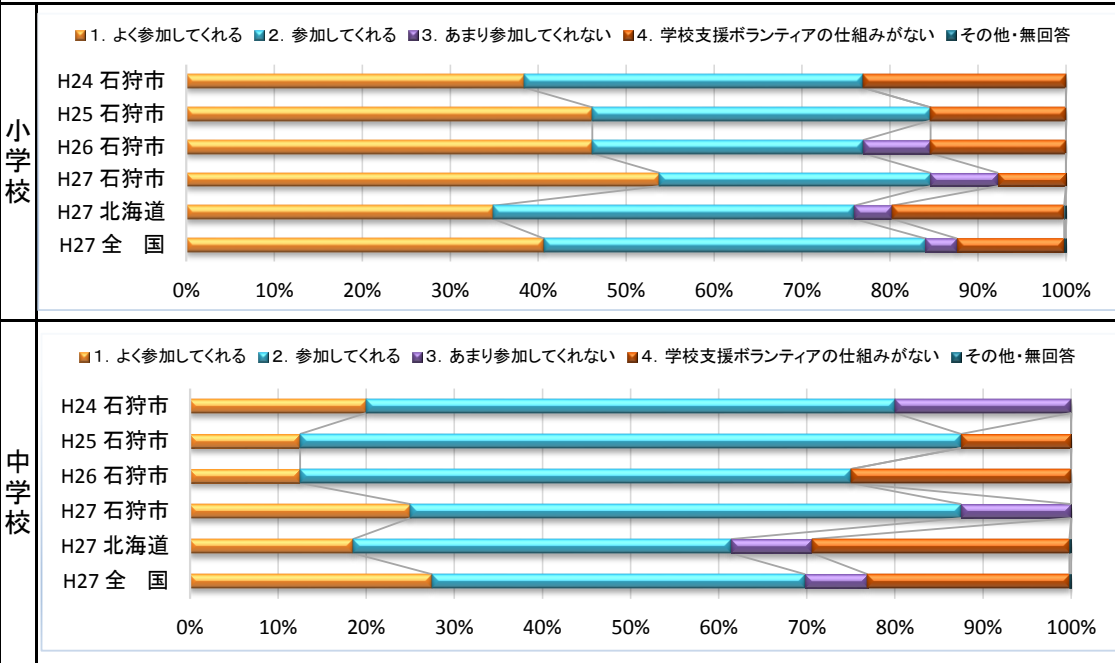


## VI 地域・学校間連携

### 地域・小中間の連携教育の定着

学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、「保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれる」は、小学校で84.6%(全国比+0.5ポイント, 全道比+8.7ポイント)で、中学校では87.5%(全国比+17.8ポイント, 全道比+26.1ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、より地域との連携が図られていることが伺えます。

#### 19. 学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか



教科の指導内容や指導方法について「近隣の小・中学校と連携(教師の合同研修, 教師の交流, 教育課程の接続など)を行った・どちらかといえば行った」割合は、小学生で100.0%(全国比+33.3ポイント, 全道比+36.3ポイント)で、中学生では100.0%(全国比+24.5ポイント, 全道比+24.1ポイント)でした。全道・全国平均を上回り、より小中の連携が図られていることが伺えます。

#### 20. 教科の指導内容や指導方法について近隣の小・中学校と連携(教師の合同研修, 教師の交流, 教育課程の接続など)を行っていますか

